

# 平成30年度 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

## 特定非営利活動法人支えてネットワーク

### はじめに

ひきこもりは、社会問題だと言われつつ現状が見えづらい。2010年の内閣府の調査では15～39歳の人口の1.57% 54万人がひきこもり状態にあるという報告があったが、ひきこもりの長期化・高齢化も社会問題となりつつあり、平成30年度にはその実態調査がなされ、40～64歳までのひきこもり者は61万人と公表された。

現状の公的支援制度には狭間があり、支援に繋がりにくい状況があると考えられる。それらに対応するセーフティネットとして、当法人では日々の活動に取り組んでいるが、それは当法人だけで担えるものではなく、関係機関との協働なくしては成果を出すことはできないと考えている。今年度は、関係機関との情報共有や、ひきこもりの実態把握や課題の構造分析などに取り組み、平成31年度の具体的な事業連携に向けた取り組みを行った。

※ 本報告書と、定款に記した事業との対応関係を以下に示す。

- |                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 1. 相談支援プログラム   | 定款事業 (2) (3) (4)         |
| 2. 居場所づくりプログラム | 定款事業 (1) (2) (3) (4) (5) |
| 3. 就労準備プログラム   | 定款事業 (1) (2) (3) (4) (5) |
| 4. その他         | 定款事業 (3) (4)             |

### 1、相談支援プログラム

ひきこもりからの回復のきっかけがつかめず、困っている人たちに対し、ひきこもり状態から抜け出すためのきっかけや、入口として相談が出来ることが大切である。

当法人では、電話・来所相談は開所日であれば常時受け付けており、また相談から居場所という継続した支援を行うことで、新規で相談があった23名のうち3名がその後の継続利用につながっている。

山口市と防府市とひきこもりサポーター派遣事業を委託契約し、3件の訪問サポートを実施している。

毎年行っているひきこもりサポート事業の研修会（公開講座）は、今年も山口市社会福祉協議会からの委託事業として、多様な働き方をテーマとした公開講座を実施する予定だったが、台風接近により中止となった。

## (1) 相談支援活動

### ①訪問サポートの実施

対象者：3名（山口市・防府市サポーター派遣事業）

訪問回数：39回（延べ）

ケースカンファレンス回数：7回

訪問サポーター登録者：10名

### ②相談業務（電話、来所、出張）

相談者数（実）：

属性	人数
新規	23
継続利用者	13
関係機関	12
不明・匿名	3
合計	51

相談件数（延べ）：

種別	回数
電話	32
来所・出張	61
メール	3
合計	96

→新規相談者のうち3名が継続利用につながっている。

### ③なごみの風研究会（ケース検討など）

開催回数：年間／8回

参加者数：49名（延べ）

## (2) ひきこもりサポート事業

開催日：7月29日（日）13時30分～15時

内容：一般公開講座

テーマ：「ひきこもる人達にとって働くとは？」

※ 台風接近により中止となった。

## (3) 家族のつどい

### ①開催日：8月11日（土）

場所：支えてネットワーク「和の家」

内容：情報交換

勉強会「心のくせを知ってポジティブコミュニケーションにつなげよう」

参加者：11名（家族4名、スタッフ7名）

### ②開催日：平成31年2月9日（土）

場所：支えてネットワーク「和の家」

内容：情報交換

勉強会「本人との適度な距離の取り方」

参加者：16名（家族7名、スタッフ9名）

#### (4) 外部研修及び会議の参加

##### <講師派遣>

月 日	研 修 名	主 催	場 所	人 数
6/15 (金)	平成 30 年度生活保護医療担当職員研修	社会福祉研修部研修課	山口市	1 名
6/21 (木)	山口県立大学社会貢献教育「寄付の教室」	山口県立大学	山口市	1 名
9/28 (金)	平成 30 年度山口県地域福祉推進セミナー	山口県社会福祉協議会	山口市	1 名
10/4 (木)	民生委員児童委員の視察研修	周防大島町民生委員児童委員協議会	周防大島町	1 名
10/16 (火) 11/6 (火)	平成 30 年度ひきこもりサポーター養成研修会	山口県精神保健福祉センター	防府市 周南市	2 名
11/16 (金)	やない地域生活センター研修会「ひきこもり支援について」	やない地域生活支援センター	柳井市	1 名
11/15 (木)	平成 30 年度ひきこもり家族教室 (長門市)	長門健康福祉センター	長門市	1 名
H31 年 3/12 (火)	「ひきこもり」について	養元寺「すみれ会」	山口市	1 名
3/18 (月)	平成 30 年度ひきこもり家族教室 (山口、防府市)	山口、防府健康福祉センター	山口市	1 名

<研修及び会議の参加>

月 日	研 修 名	主 催	場 所	参加者
5/1 (火)	防府市ひきこもりサポーター派遣事業におけるケース会議	防府市障害福祉課	防府市	2名
5/23 (水)	第2回山口県地域福祉支援計画策定検討委員会	山口県厚生課	山口市	1名
5/20 (土)	2018年度山口県精神福祉福祉協会総会及び第1回研修会	山口県精神保健福祉士協会	山口市	1名
7/10 (火)	平成30年度ろうきんNPOフォーラム	NPO 法人やまぐち県民ネット21	山口市	1名
7/23 (月) 7/24 (火) 9/24 (月) 9/25 (火)	ソーシャルマネジメント道場	山口県県民生活課	山口市	4名
8/10 (金)	就業支援講座～就業評価(職業適性検査)	山口障害者職業センター	防府市	1名
8/16 (木)	第3回 山口県地域福祉支援計画策定検討委員会	山口県厚生課	山口市	1名
9/7 (金)	平成30年度山口県若者自立支援ネットワーク会議	山口県商工労働部労働政策課	山口市	1名
9/9 (日)	心の健康セミナー	山口県精神保健福祉協会	山口市	3名
11/10 (土)	KHJ 全国大会 in 広島	KHJ 全国ひきこもり家族連合会	広島県	5名
11/13 (火)	平成30年度第2回食品衛生責任者養成講習会	防府食品衛生協会	防府市	2名
11/23 (金)	パートナーシップ会議	山口県県民生活課	山口市	2名
H31年 3/7 (木)	ブルやまイベントマーケット出店について	ブルーライトやまぐち	山口市	1名

## 2、居場所づくりプログラム

生活リズムを整える目的や、次へのステップへの休養や体力作りなど、居場所機能としての和の家。様々な社会体験やレクリエーションなどを通じ、家族以外との関係づくりとして、スタッフや仲間との交流などを体験できる場としている。

今年度の登録者26名のうち85%にあたる22名が、居場所の継続利用や作業所への移行、就労（アルバイト含む）や復学など、ひきこもり状態から脱して本人なりの社会参加を実現している。

### (1) 開設日

開設日 年間／209日（月・火・水・木・土曜日／週、第1日曜日／月）

開所日 年間／161日（月・水・木・土曜日／週、第1日曜日／月）

### (2) 利用者数

	利用者登録	利用者数 (延べ)	備考
一般	8	300	
障がい者デイサービス (日中一時支援事業)	18	466	
その他	—	250	家族・関係者
合計	26	1,016	

スタッフ数：有給364人（延べ）、無給（ボランティア含む）257人（延べ）

### (3) 利用者の状況

性別

属性	人数
男性	19
女性	7
合計	26

年代

属性	人数
10～20代	6
30代	7
40代	7
50代以上	6
合計	26

平成30年度利用者の変化

属性	人数
居場所利用継続	7
作業所へ移行	2
就労(アルバイト含む)	9
医療や他の機関へ移行	4
中断、不明	4
合計	26

→全体70%にあたる18名が、居場所の継続利用や作業所への移行、就労(アルバイト含む)など、ひきこもり状態から脱して本人なりの社会参加を実現している。

(4) 内容

① 集団プログラム

<外出クラブ>

外出先は、利用者の希望で決定している。山口市内外に出かけ、それぞれの活動を楽しむことが出来た。

開催回数：年間／9回      参加者数：73名(延べ)



<串山連峰ハイキング>



<初詣>

<料理の日>

メニューの決定から材料の買い出し、調理や後片付けなど、みんなで協力して行い、季節のメニューなども取り入れ、みんなとの食事会を楽しんでいた。

開催回数：年間／8回      参加者数：66名(延べ)



<バーベキュー>



<手巻き寿司>

### <ボランティアの日>

毎月1回、和の家周辺の道路沿いなど、地域でのゴミ拾いを実施している。社会奉仕活動の意識を育み、協力しながら作業することの大切さなどを経験できた。

開催回数：年間／10回 参加者数：27名（延べ）

### <利用者会議>

翌月の行事日程と内容などについて、話し合いをもって決定する。雑談や情報交換など利用者同士の交流の時間にもなっている。

## ② レディースデイ

女性限定の日として、利用者やお母さん、ボランティアスタッフなどが参加している。ランチづくりや女性ならではのプログラムは大変好評で、毎回参加を楽しみにしている人も増えてきた。

開催回数：年間／10回（毎月第1日曜日 10：00～）

参加者数：84名（延べ）



<書道>



<フラワーアレンジメント>

## ③ 年間イベント

ボランティアグループが中心となり、実行委員会を募り、主な年間行事の企画、運営などを行っている。

### <花見>

開催日：4月7日（日）

場 所：大村神社

参加者数：18名



### <なごみフェスタ>

毎年地域の方々に当法人のことを知ってもらうことを目的に開催している。利用者やボランティアを中心に前日から準備を行っている。当日も近隣の方々の来場があり、やぎのふれあいコーナーやミニコンサート、地域からうどんやたこ焼きの出店など多くの人達に支えられての楽しい1日を過ごせた。

開催日：10月28日（日）

参加者数：113名（内訳：来訪者70名、ボランティアスタッフ等30名、ゲスト13名）



<ミニコンサート>



<うりうり募金紹介コーナー>



<ヤギも遊びに来ました>



<友愛セールやチャリティコーナー>

### <クリスマス会>

毎年、ボランティアや家族、地域のゲストをお招きして、利用者と共に交流を楽しんでいる。

開催日：12月22日（土）

参加者数：25名

内容：パエリアとコンソメスープ作り  
ミニコンサート、ゲームや茶話会



<大鍋でパエリア>



<ミニコンサート>



### 3、就労準備プログラム

就労を希望する人達にとって、安心して就労体験のできる場、体力作りや人間関係の広がり、人付き合いの練習ができる場である。

農作業などの実際の作業と体験するとともに、定期的にSST（社会生活技能訓練）を取り入れ、実際の場面を想定して人との会話を練習するといった内容もあり、利用者とのやりとりなどで実践し、振り返りにつなげていくこともできていた。

また、働くことへのきっかけづくりとして、本人の希望を取り入れながら、就労支援を行い、福祉就労へ1名、障害者雇用へ3名が進んでいる。

企業とのマッチングも目指しており、今年度は企業インターンに行った会社に、その後アルバイトとして1名が就労につながったという成果もでている。今後も企業との連携や協働など積極的に取り組んでいきたいと考えている。

#### <事業内容>

##### ① ヤギ当番

防府市の「株式会社山本工業」の協力で、メガソーラーで除草のため放牧しているヤギの健康チェックの依頼を受け、週3回ヤギの健康状態に異常がないかチェックしている。草だけでは栄養が不足するためエサや水を与え、ソーラーパネルにヤギが上がっていないかの確認作業を行っている。動物が相手で癒される部分もあるが、命を預かることでもあり責任を感じる作業である。

作業日：月・木・土／週（4月～10月）  
作業日数：年間／71日  
参加者数：243人（延べ）



##### ② 農作業（うり作業含）

和の家に隣接する畑を活用し、季節ごとの野菜を栽培する農作業を行っている。また、岩国市「有限会社みかわ」の依頼で、奈良漬けに使ううりの栽培も行っており、植え付けから収穫、箱詰め出荷作業を行った。しかし、7月の豪雨災害で奈良漬け工場に被害があり、出荷量は昨年を下回るようになった。暑い時期の作業ではあったが、参加した参加メンバーの頑張りもみられた。

作業日：適宜／年  
作業日数：年間／65日  
参加者数：280人（延べ）



##### ③ 環境整備（草刈作業など）

作業日：適宜  
作業日数：年間／18日  
参加者：76人（延べ）



#### ④ 室内作業など

作業日：適宜

作業日数：年間／23日

参加者：71人（延べ）

#### ⑤ SST（ソーシャルスキルズトレーニング）

就労に向けての対人関係や集団行動を上手に営んでいくため開催している。特に今年度は職場で役立つSSTを中心に実施している。

実施日：第4土曜日

実施日数：年間／8日

参加者数：45人（延べ）



#### ⑥ 職場体験

協力企業において職場体験を行う。実際の作業に取り組みながら、就労に対するイメージを具体的にし、職場に必要なスキルや体力、対人関係などを実際の場面を通して学んでいる。

今回、（有）いしだクリーニングにて実施した。



実施日数：年間／4日

参加者数：9人（延べ）→体験後1名が実際の就労につながった。

## 4、その他

今年度は団体の基盤整備の一環として、中間支援者の伴走支援を受けながら、課題を把握し、問題構造の分析や具体的にどのように事業を進めていくのかといった事業計画作成を行った。また、その一環でひきこもりの相談の実態調査や、関係機関との協働をどのように進めるかの円卓会議を実施し、今後の具体的な行動計画について検討することができた。

また、広報活動の中で、居場所などの利用につながっていなかったり、家族相談のみの段階の方にアプローチできるよう、メールマガジンでの情報発信をスタートした。

### (1) 基盤整備

団体の基盤整備の一環として、中間支援者の伴走支援を受けながら、課題を把握し、問題構造の分析や具体的にどのように事業を進めていくのかといった事業計画作成を行った。

また、その一環で関係機関のひきこもりの相談の実態調査を行うことで、まずは相談にどれくらいつながっているのか、また相談後の状況について把握することにつながった。

### (2) 関係機関、団体との連携

#### ① 事業連携に向けた円卓会議

日付	内容	主催
5/1 (金)	山口市内のひきこもり支援に関わる支援機関が参加し、その現状と課題についての話し合いを実施	山口市市民活動支援センターさぼらんて主催 「さぼカフェ」して実施
6/22 (金)	前回に続いて、個別ケース検討を通じた課題に洗い出しを実施	
12/11 (火)	山口市内の関係機関のひきこもり相談に関する調査結果を元に、相談を中断させないために必要なことを話し合った	
7/28 (土)	山口県内のひきこもり支援に関わる NPO などが集まり、ひきこもりの就労支援について、取り組まれている事業や課題などを共有した	当法人主催として実施
H31 年 3/5 (火)	山口市内の関係機関と、連携が必要と考える事業について、具体的にどのように実施していくかを話し合った	当法人主催として実施

#### ② その他の団体・企業との連携

団体名	内容
たのSEA秋穂づくり協議会	秋穂ふれあいまつり あいお祭り参加
吉南病院	文化祭参加

山口市市民活動支援センター「さぼらんて」	運営相談、指導など
山口県KHJきらら会	山口市駅伝参加など
株式会社山本工業（防府市）	就労支援協力
有限会社みかわ（岩国市）	就労支援協力
合同会社フリック（山口市）	就労支援協力
有限会社いしだクリーニング（山口市）	就労支援協力
ブルーライトやまぐち	発達障害啓発週間のイベント協力など

### （３）広報活動

- ・和の家通信発行 年間／２回（２，０００部）
- ・ホームページ管理 Facebook、メールマガジンと連動して情報発信
- ・チラシやパンフレットの作成・配布

### （４）理事会の開催

年間／６回（５月８日、５月１９日、８月７日、１０月６日、１２月２５日、３月２６日）

### （５）ファンドレイジング

#### ①「支え人。」プロジェクト

- ・有限会社 寿司やす 様 「寄り添う心プロジェクト」
- ・オリジナルフラワーブレンドティー リングリンク 様  
「ハタラク」を応援するブレンドティープロジェクト
- ・ヨガルーム ブーゲン華 様 「笑顔の繋がりプロジェクト」



<3/13 寄付金贈呈式 有限会社寿司やす様>

#### ② 寄附付き自動販売機

寄附付き自動販売機を個人・協力企業に設置してもらっている。

- ・道中 寿男 様
- ・(株) あいお 様
- ・(株) 山本工業 様

### ③ 助成金の申請など

- ・ 赤い羽根共同募金助成金 ～ 2,000,000 円  
「ひきこもりセーフティネット整備事業」
- ・ 秋穂地区社会福祉協議会  
「福祉活動助成金」 ～ 200,000 円
- ・ ろうきん NPO 寄附システム助成金 50,000 円
- ・ ㈱セールスフォースドットコム ～ ソフトウェア使用
- ・ Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs ～ 不受理

### ④ うりうり募金プロジェクト

瓜を育てて地域も育てる仕組み作りを目指し、「うりうり募金プロジェクト」を今年度も実施した。協力の呼び掛けに対し、7名の生産者の協力を得て2.8tのうりの募金を受けた。毎日暑い中、収穫や出荷作業に多くの方々に協力いただき、メンバーと共に最後まで頑張ることが出来た。

協力生産者：7名

出荷（募金）量：2.8t

約160,000円相当の支援があった。

